

登録コード	E5009900	開講年度	2026					
授業科目	総合演習				担当教員	安達 仁美		
英文授業名	General Seminar				副担当			
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	月曜・6時限		対象学生	2-4年生
講義室	教育N308			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】			
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				・探究課題を追究することを通して、教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身につける			
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				・テーマ追究プロセスにおいて他者との協働や社会的スキルの能力を高め、課題解決までのプロセスにおいて常に実践をリフレクションして自分の学習活動をメタ認知することができる。			
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	学生がそれぞれ自分の追究テーマを設定し、主体的に研究計画を立て、1年間を通して追究をしていく。最後に研究成果を発表し、最終レポートにまとめる。							
(5)授業計画	* 受講者の人数とメンバーの関心を考慮して授業内容をアレンジする。 第1回：オリエンテーション～この演習に求められること～ 第2回：探究テーマの決定 第3回：年間計画の作成 第4回：活動計画のメンタリング 第5回：調査準備 第6回：調査活動（1）取材 のアポイントメント 第7回：調査活動（2）取材 の実行 第8回：調査活動 中間発表会 第9回：調査活動（3）取材 のアポイントメント 第10回：調査活動（4）取材 の実行 第11回：調査活動（5）取材 データの整理 第12回：調査活動（6）追加取材 第13回：まとめと考察 第14回：研究成果のプレゼンテーション・授業アンケート 詳細は初回の授業オリエンテーションにて説明します							
(6)成績評価の方法	授業の到達を測るために調査計画と進行状況（40％）と、研究成果レポートの内容（60％）によって総合的に評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可							
(7)成績評価の基準	・卓越している...自ら設定したテーマの課題の解決に向けて計画を立案し、主体的に探究活動に取り組んでいる。 ・かなり上である...自ら設定したテーマの課題の解決に向けて取り組み、探究活動に取り組んでいる。 ・やや上にある...自ら設定したテーマの課題の解決に向けて取り組んでいる。 ・水準にある...研究テーマに応じた調査方法を工夫し、課題解決に向けて努力している。							
(8)事前事後学習の内容	・自己のテーマに合わせて計画的にプロジェクトを進行する。活動内容と日付等の記録を丁寧につけること。							
(9)履修上の注意	・履修登録した学生には履修方法についてメールで連絡します。もし、履修登録をしたにも関わらず連絡がこなかった場合は、安達まで連絡をしてください。 ・通年での集中型での授業運営となる。1年間をかけて計画的にプロジェクトを進行できることが求められる。メールでの連絡やeAlpsを通じた課題の提出が求められるため情報漏れの内容に注意すること。							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問・相談等は事前にメール等でアポイントメントをとっていただければ随時対応します。 連絡先: 安達仁美（N308） adachi@shinshu-u.ac.jp / 電話026-238-4211							
【教科書】	指定しない							
【参考文献】	授業の中で随時紹介する。							